

補助事業番号 ②²¹ 1-134
 補助事業名 平成21年度一般戦災死没者の慰霊補助事業
 補助事業者名 社団法人日本戦災遺族会

1. 補助事業の概要

(1) 実施内容

① 慰霊事業

全国の主要戦災都市12箇所で慰霊祭を開催した。合同慰霊祭は、1市(姫路市)で太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会と共催、地方慰霊祭は11市町で同市戦災遺族会と共催で開催した。

なお、実施した市町、期日、実施場所及び参加者数は次のとおり。

合同慰霊祭開催都市名	実施期日	実施場所	参加者数
姫路市	10月26日	市内太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔前	500人
地方慰霊祭開催都市名	実施期日	実施場所	参加者数
(ア) 浜松市	6月18日	市内戦災被爆者慰霊碑前	150人
(イ) 各務原市	6月21日	市内蘇原中央町慰霊塔前	90人
(ウ) 岡山市	6月28日	市内 蓮昌寺	51人
(エ) 徳島市	7月4日	市内ホテル千秋閣	110人
(オ) 静岡市清水	7月5日	市内清水区 慈雲寺	43人
(カ) 和歌山市	7月9日	市内戦災死者供養塔前	200人
(キ) 大垣市	7月26日	市内笠木町戦災死没者慰霊碑前	80人
(ク) 松山市	7月26日	市内平和記念広場	100人
(ケ) 一宮市	7月28日	市内大乘公園内殉難碑前	80人
(コ) 大牟田市	9月19日	市内大牟田斎場	50人
(サ) 海南市下津町	9月24日	市内長保寺本堂	45人

② 慰霊に関する講演会の開催

(ア) 講演会

慰霊に関する講演会を6箇所で開催した。実施した市町及び期日等は次のとおり。

講演会開催都市	開催期日	参加者数
a. 浜松市会場(浜松市福祉交流センター)	6月18日	180人
講師：川瀬 正司(戦災体験者)、宇都宮義長(有識者)外		
b. 各務原市会場(各務原市蘇原中央町公会堂)	6月21日	85人
講師：平光 嘉男(戦災体験者)、小原松養(有識者)外		
c. 静岡市清水会場(静岡市清水区慈雲寺別館)	7月5日	43人
講師：奥山 幸雄(戦災体験者)、大貫 輝行(有識者)外		
d. 大垣市会場(大垣市笠木町東公民館)	7月26日	40人

講師：安田 寛(副会長)、中野 義一(有識者)外

e. 一宮市会場(一宮市大乘公園内殉難碑前) 7月28日 80人

講師：高田 笹夫(戦災体験者)、石川 勇(有識者)外

f. 大牟田市会場(大牟田市大牟田斎場) 9月19日 50人

講師：永松 嘉夫(戦災体験者)、中島 嗣郎(有識者)外

(イ) 語りべ会

慰霊に関する語りべ会を15箇所で開催した。実施した場所及び期日等は次のとおり。

	開催期日	参加者数
a. 浜松市会場(浜松城公園)	6月18日	180人
講師：上原 宏(戦災体験者)、柿沢郁子(戦災体験者)、中村 哲二(戦災体験者)		
b. 浜松市会場(県立浜松特別支援学校)	6月26日	38人
講師：上原 宏、中村哲二、立川喜代子(戦災体験者)		
c. 浜松市会場(浜松復興記念館)	6月29日	63人
講師：上原 宏、中村哲二、立川喜代子		
d. 浜松市会場(竜禅寺本堂)	7月4日	45人
講師：上原 宏、立川喜代子、伊熊フジ子(戦災体験者)		
e. 浜松市会場(浜松市福祉交流センター)	7月14日	120人
講師：上原 宏、立川喜代子、伊熊フジ子		
f. 浜松市会場(浜松市蒲公民館)	8月3日	110人
講師：立川喜代子、伊熊フジ子、佐倉忠夫(戦災体験者)		
g. 浜松市会場(浜松復興記念館)	8月6日	94人
講師：上原 宏、伊熊フジ子、佐倉忠夫		
h. 浜松市会場(浜松復興記念館)	8月9日	101人
講師：上原 宏、立川喜代子、伊熊フジ子		
i. 浜松市会場(浜松復興記念館)	8月16日	150人
講師：上原 宏、佐倉忠夫、奥村利彦(戦災体験者)		
j. 浜松市会場(浜松市天竜公民館)	8月24日	70人
講師：上原 宏、立川喜代子、伊熊フジ子		
k. 浜松市会場(ドリーム・フィールド校)	9月10日	281人
講師：上原 宏、柿沢郁子、中村哲二		
l. 浜松市会場(浜松市立南中学校)	10月2日	232人
講師：上原 宏、立川喜代子、伊熊フジ子		
m. 浜松市会場(県立浜松工業高等学校)	11月18日	49人
講師：上原 宏、立川喜代子、中村哲二		
n. 浜松市会場(浜松市福祉交流センター)	11月21日	110人
講師：上原 宏、立川喜代子、伊熊フジ子		
o. 浜松市会場(浜松市福祉交流センター)	12月14日	154人
講師：上原 宏、佐倉忠夫、奥村利彦		

(2) 成 果

① 慰 霊 事 業

一般戦災死没者の霊を慰め、再び戦禍を繰り返さないよう平和への誓いを新たにし、広く国民の認識を深めるため、全国戦災都市12箇所で慰霊事業を実施した。

多くの方々に慰霊事業の認識と理解を深めることができた。参加者は約1,500名であった。

② 慰霊に関する講演会の開催

(ア) 講 演 会

慰霊に関する講演会を6箇所で開催した。

今次大戦の体験を的確に話すことにより、戦争の悲惨さ、愚かさ、平和の尊さを長く後世に伝える必要性を理解してもらうことができた。いずれの会場でも熱心な人々が参加され、講演会の目的である啓発に多大の成果があった。参加者は約500名であった。

(イ) 語 り べ 会

慰霊に関する語りべ会を15箇所で開催した。

今次大戦の具体的な、地元に着した個々の体験を後世に伝え、戦争の悲惨さと平和の尊さを若い人々や児童・生徒に理解してもらうことができた。いずれの会場も盛況であり、語りべ会の目的である啓発に多大の成果があった。参加者は約1,800名であった。

2. 今後予定される効果

① 慰霊事業

一般戦災死没者の霊を慰め、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝えていくためにも慰霊祭をより多くの場所で続けて実施し、出来るだけ多くの人々を参加させることによって、国民に平和の大切さを認識する機会を増やすことが出来ると予想される。

② 慰霊に関する講演会(語りべ会)の開催

戦争の悲惨さ、平和の尊さなどを後世に伝えていくためには、着実に継続していく講演会(語りべ会)の実施が必要である。今後は、出来るだけ多くの場所で開催するとともに多様な方法で、多くの国民に訴えることにより、年々参加者の増加が予想されるし、一般国民をはじめ、若年層への理解が深まることが予想される。

3 本事業により作成した印刷物(研究報告書等)

- ・ 戦災死没者慰霊に関する講演会のしおり 960 部
- ・ 慰霊に関する語りべのしおり 1,500 部

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名 社団法人 日本戦災遺族会(ニホンセンサイイゾクカイ)
住所 102-0083
東京都千代田区麴町1-3ダイアン麴町ビル405
代表者 理事長 岩田 一夫(イワタ カズオ)

担当部署 本部事務局
担当者名 事務局長 板垣 克男(イタガキ カツオ)
電話番号 03-3264-5287
FAX 03-3264-5287
E-mail k.i-izoku@nifty.com
URL <http://homepage3.nifty.com/sennsai/>